

校種	小学校	利用人数	90人
----	-----	------	-----

平成23年度教員免許状更新講習
国立赤城青少年交流の家

プログラム名(テーマ) 自然に親しみ社会性豊かな人間関係を育む

目指す児童・生徒像 自然に親しみ、自然を愛する子 仲間と豊かに関われる子

	起床後	朝食	午前の活動	昼食	午後の活動	夕食	夜間の活動	その他
1	8：20 学校出発		10：20 エネルギー館見学（トイレ休憩） 10：30 地蔵岳登山 11：30 地蔵岳山頂クリーン作戦 12：10 小沼散策昼食 雨天時 自然史博物館見学		12：40 小沼～覚満淵ハイキング（植物観察） 13：30 ビジターセンター後見学出発 14：20 入所式・荷物の整理 15：30 施設内オリエンテーリング 17：00 タベの集い 雨天時 自然史博物館から		18：30 キャンプファイヤー準備 19：00 キャンプファイヤー 歌って 踊って 楽しもう 遠き山に日が落ちて 燃えろ燃えろ 等 アルパハムと7人の子 ジンギスカン 等 猛獣狩りに行こうよ リスときこり 等 21：30 班長会議 22：00 就寝	雨天時 自然史博物館見学 キャンドルサービス
目			○仲間と助け合いながら登山し、地蔵岳の動植物に親しむ。 ○自然に親しむことにより、自然環境について理解する。 ＜持ち物＞ ・軍手・水筒・昼食・帽子・雨具 ＜指導上の留意点＞ ・服装は長袖・長ズボン・はき慣れたくつ ・1列で追い抜きはさせない。 ・養護の先生は最後部に、体調が悪くなったらその場で付き添いをつけて待たせる。		○自然に親しむことにより、自然環境について理解する。 ○施設にどんなところがあるかを知る。 ＜準備するもの＞ ・しおり（部屋割り・館内図確認テック表 等） ・入所式の式次第・ ＜指導上の留意点＞ ・定期的に人数確認を班長し報告 ・非常階段の確認 ・生ゴミの回収 ・タベの集いは活動班ごとに整列		○仲間とふれあうことにより、共同精神をを高め豊かな信条を育てる。 ＜準備するもの＞	
2	6：00 起床 荷物の整理 6：30 朝の自由散策 7：00 朝の集い		9：00 ウォークラリー ・1班6～7人 各クラス4～5班 ・スタート表にしたがいコース別にスタート		13：00 アドベンチャープログラム（AAP） 1班 15人 クラス2班 17：00 タベの集い		19：00 肝試し 1グループ 男女混合3～4人 20：00 夜空の観察	雨天時 アドベンチャープログラム（AAP） 室内 プラネタリウム
目			○自分の役割を自覚し、仲間と協力ししながら、ゴールすることができる。 ○コマ図の読み方を理解し、資料を正確に読み取り行動することができる。 ＜持ち物・準備＞ ・軍手・水筒・帽子・雨具・コマ図・しおり ・10円（緊急連絡用） 等 ＜指導上の留意点＞ ・ひとりひとりの役割を確認する。 ・コース安全の先生は、担当の場所まで最初のグループについていき、児童担当の先生は、最終グループについていく。 ・迷子になったときは、近くの家をお願いして連絡する。 ・体調が悪くなったら、本部またはポイントの先生に連絡する。その場で付き添いをつけて待たせる。 ・活動班ごとに整列させ、時間差でスタート		○アドベンチャープログラムにに挑戦することにより「人を信頼する心」「自己との対峙」「葛藤」「仲間との協力」「達成感」などを味合わせる。 ＜準備するもの＞ ・軍手・水筒・雨具 ・ ＜指導上の留意点＞ ・施設の人の話を聞き、十分理解してから活動する。 ・タベの集いは活動班ごとに整列		○お互いに助け合いながら行動することができる。 ○星の観察を通して、星座の位置関係を理解しそれぞれの星に名前があることを知る。 ＜準備するもの＞ ・懐中電灯・星座早見盤 双眼鏡 等 ＜指導上の留意点＞ ・暗くて、安全で（一本道。車が通らない。歩きやすい）ところをクラスごとに確保する。 ・スタートとゴールには必ず教師がいる。 ・星座観察は、明かりのない広場で全体指導してからクラスで観察。	

